



Photo:
旭川駅と隣接する忠別川の水辺プラザ整備により誕生した空間(「北彩都あさひかわ」平成27年供用)
(北海道 旭川市)

のこすこと、つくること どちらも国土技術です。

平成27年度 国土交通省

国土技術研究会

2015年
11/12木・13金

会場: 中央合同庁舎2号館
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するものです。

【参加費無料】【事前申込受付中～11/9(月)17時まで】
(※)特別講演会場には収容人数に限りがございます。会場の安全管理の観点から事前申込により入場制限をさせて頂く場合がございます。お早目の参加申込をお願い致します。事前参加申込の手続きは国土技術研究会HPをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

課題論文、プログラム詳細はホームページに掲載しております。必要に応じてプリントアウトしてお持ちください。内容については、変更する場合があります。最新情報については、ホームページをご覧ください。

写真提供: NEXCO東日本

【プログラム】

12日

- 自由課題
一般部門(安全・安心、活力)
イノベーション部門
- ポスターセッション
- 建設技術研究開発助成制度成果報告会

13日

- 自由課題
アカウンタビリティ部門
- 指定課題
- ポスターセッション
- 建設技術研究開発助成制度成果報告会
- 特別講演
『国内航空機産業基盤拡大に向けて』
川井 昭陽 氏 (三菱重工業株式会社 特別顧問)
[前 三菱航空機株式会社 代表取締役 社長]



主催 国土交通省

Photo:
圏央道(神崎IC～大栄JCT)の開通により常磐道と東関東道が接続(平成27年6月開通)
(千葉県 成田市)

平成27年度国土交通省国土技術研究会

特別講演『国内航空機産業基盤拡大に向けて』

日時：平成27年11月13日(金) 15:00~16:00
 会場：中央合同庁舎2号館(地下2階) 講堂



川井 昭陽
 Kawai Teruaki

三菱重工業株式会社 特別顧問
 (前 三菱航空機株式会社 代表取締役 社長)

【略歴】

昭和48年4月 三菱重工業株式会社 入社
 平成14年4月 同社 名古屋誘導推進システム製作所 副所長
 平成16年4月 同社 名古屋誘導推進システム製作所 所長
 平成20年2月 同社 執行役員、航空宇宙事業本部長
 平成20年6月 同社 取締役、常務執行役員、航空宇宙事業本部長
 平成23年4月 三菱航空機株式会社 取締役 副社長
 平成25年1月 同社 代表取締役 社長 [最高執行責任者(COO)]
 平成27年4月 三菱重工業株式会社 特別顧問

【自己紹介】

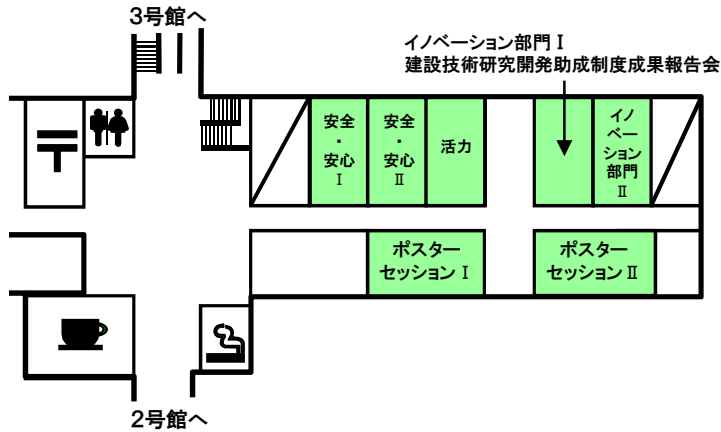
昭和48年三菱重工入社後、MU-2後継機検討チームに配属され、後のビジネスジェット機MU-300を担当。MU-300開発では、性能を担当し、飛行試験にも携わった。三菱重工で、航空機宇宙事業本部長を経て、平成23年4月から平成27年3月まで、MRJ※開発の技術最高責任者。

※ MRJ：三菱リージョナルジェット(Mitsubishi Regional Jet)

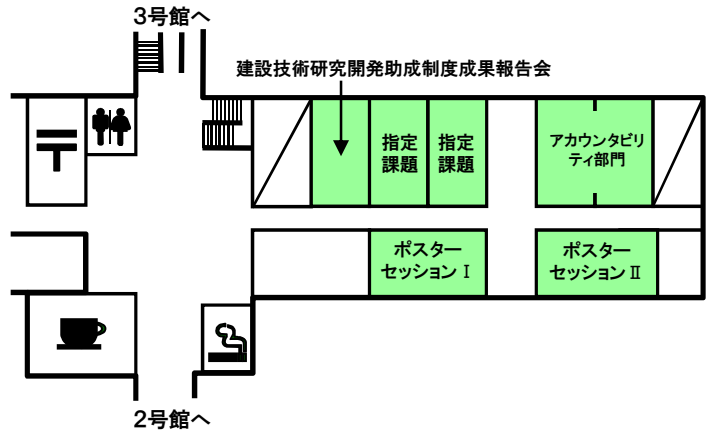
会場案内

- 特別講演は、中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂で行います。
- 講堂の収容人数の関係上、事前参加申込を実施致します。

第1日目：11月12日(木)



第2日目：11月13日(金)



プログラム

| 第1日目 11月12日(木) | | 第2日目 11月13日(金) | | | |
|---|---|---|----------------------|-------------------------|---|
| 10:30 受付開始 | | 9:30 受付開始 | | | |
| 自由課題発表 一般部門・イノベーション部門 | ポスターセッション | 自由課題発表 アカウンタビリティ部門 | 指定課題発表 | 建設技術研究開発助成制度 成果報告会 | ポスターセッション |
| 11:00 一般部門<安全・安心Ⅰ> 3課題 一般部門<安全・安心Ⅱ> 3課題 一般部門<活力> 3課題 イノベーション部門Ⅰ 3課題 イノベーション部門Ⅱ 3課題 | 展示数 12課題 | 10:00 アカウンタビリティ部門 10課題 | 10:00 指定課題 7課題 | 10:00 政策課題解決型 7課題 | 展示数 12課題 |
| 12:00 休憩 | コアタイム 11:50~ 13:10 ※コアタイム中は、 説明者が常駐 | 12:20 | 13:40 | 13:40 | コアタイム 11:50~ 13:10 ※コアタイム中 は、説明者が 常駐 |
| 13:00 一般部門<安全・安心Ⅰ> 10課題 一般部門<安全・安心Ⅱ> 8課題 一般部門<活力> 11課題 イノベーション部門Ⅰ 6課題 イノベーション部門Ⅱ 6課題 | 建設技術研究開発助成制度 成果報告会 | 特別講演(中央合同庁舎2号館 講堂) | | | |
| 17:20 | 15:40 政策課題解決型 5課題 17:20 | 14:30~15:00 受付(ただし、会場への入場は14:50より可能) 15:00~16:00 特別講演「国内航空機産業基盤拡大に向けて」 | | | |

<安全・安心Ⅰ> 1日目：11月12日（木）11:00～16:40

| NO | 時間割 | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|-------------|--|-----------------------------------|--------|
| 1 | 11:00～11:20 | サンゴ礫混じり土のせん断特性の評価手法に関する検討 | 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 | 金子 崇 |
| 2 | 11:20～11:40 | 観測データに基づいた維持管理の効率化・的確化へ向けてー清掃作業への適用を始めるー | 関東地方整備局 大宮国道事務所 浦和出張所 | 上島 雅志 |
| 3 | 11:40～12:00 | 耐候性鋼橋の適用環境および外観性状によるさび状態の評価に関する研究 | 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室 | 岡田 紗也加 |
| 4 | 13:00～13:20 | 道路維持管理における工夫事例 | 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 湯沢国道維持出張所 | 石塚 未来 |
| 5 | 13:20～13:40 | 国道19号鳥居トンネル大規模修繕 | 中部地方整備局 飯田国道事務所 木曾維持出張所 | 松井 俊和 |
| 6 | 13:40～14:00 | 河川管理施設における遠隔監視制御システムの有効性について | 北陸地方整備局 信濃川河川事務所 施設管理課 | 畑山 啓 |
| 7 | 14:00～14:20 | 堤防等点検技術の向上について（研修用堤防の整備） | 近畿地方整備局 近畿技術事務所 品質調査課 | 塩谷 晋三 |
| 8 | 14:30～14:50 | 橋梁の太径ねじ部材における疲労損傷原因の推定と対策 | 本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ今治管理センター 橋梁維持課 | 小河 正次 |
| 9 | 14:50～15:10 | CCTVカメラと遠赤外線カメラを用いた画像処理型流速測定法の実用化 | 九州地方整備局 河川部 河川環境課 | 梅田 真吾 |
| 10 | 15:10～15:30 | 無人飛行体(UAV)を用いた護岸の健全度評価 | 中国地方整備局 太田川河川事務所 管理第一課 | 坂本 和雄 |
| 11 | 15:40～16:00 | 北海道型SMAの施工技術について | 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路保全チーム | 田中 俊輔 |
| 12 | 16:00～16:20 | 一般国道11号吉野川大橋鋼床版亀裂補修の経過報告(四国の直轄として初めての取り組み) | 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 徳島国道出張所 | 長楽 英晴 |
| 13 | 16:20～16:40 | 完成後30年経過したダム放流管内の塗装について | 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 安波ダム管理支所 | 川田 文彦 |

<安全・安心Ⅱ> 1日目：11月12日（木）11:00～16:00

| NO | 時間割 | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|-------------|---|---|--------|
| 1 | 11:00～11:20 | コンテナクレーンの耐震化技術及び維持管理技術の向上による国際競争力強化の研究開発 | 一般社団法人 港湾荷役機械システム協会 | 増田 勝人 |
| 2 | 11:20～11:40 | 地震に強い港湾を低コストで実現するための港湾計画上の工夫に関する提案 | 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 | 野津 厚 |
| 3 | 11:40～12:00 | ヘリ画像処理システムの開発 | 国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室 | 宮地 邦英 |
| 4 | 13:00～13:20 | 樋門函体下の空洞が周辺堤防の浸透安全性へ与える影響の検討 | 国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム | 吉田 直人 |
| 5 | 13:20～13:40 | 災害に強い組織づくりー災害派遣制度「県土整備部災害派遣チーム」の構築 | 群馬県 県土整備部 建設企画課 | 久保田 恒太 |
| 6 | 13:40～14:00 | 大規模災害時における港湾物流機能の確保に向けた取り組み～東北における各港湾の広域連携について～ | 東北地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 | 山谷 早苗 |
| 7 | 14:00～14:20 | 吹雪時の冬期道路環境が利用者の走行ルート選定に与える影響について | 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム | 原田 裕介 |
| 8 | 14:30～14:50 | 北陸の急流河川における破堤事例の整理(その2) | 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 工務課 | 小林 崇 |
| 9 | 14:50～15:10 | 館の橋におけるコンクリート床版の損傷から復旧まで | 大仙市 建設部 道路河川課 | 村木 圭太 |
| 10 | 15:10～15:30 | 道東道におけるドクターヘリのダイレクト着陸支援について | 北海道開発局 建設部 道路計画課 | 岩館 慶多 |
| 11 | 15:40～16:00 | 地域・民間・自治体・教育現場への防災支援に関する取り組みについて | 九州地方整備局 武雄河川事務所 調査課 | 興梠 逸郎 |

自由課題（一般部門）

<活力> 1日目：11月12日（木）11:00～17:00

| NO | 時間割 | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|-------------|--|--|--------|
| 1 | 11:00～11:20 | 道路景観に配慮したLED 道路照明施設の整備 | 関東地方整備局 東京国道事務所 防災情報課 | 杉田 政尚 |
| 2 | 11:20～11:40 | 建築物の省エネルギー設計を誘導するエネルギー消費性能予測ツールの開発 | 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室 | 宮田 征門 |
| 3 | 11:40～12:00 | 下水再生水利用時におけるノロウイルスを対象とした定量的微生物リスク評価 | 国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター 材料資源研究グループ | 安井 宣仁 |
| 4 | 13:00～13:20 | 海上コンテナ物流におけるインランドデポの活用について | 関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 | 小林 尚樹 |
| 5 | 13:20～13:40 | 海洋プラスチックの滞留時間を考慮した海岸清掃効果の定量的評価 | 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸域システム研究室 | 片岡 智哉 |
| 6 | 13:40～14:00 | 第二阪和国道建設に伴う重要種保全対策の取り組み～ゲンジボタルの保全対策について～ | 近畿地方整備局 浪速国道事務所 工務課 | 三浦 雅史 |
| 7 | 14:00～14:20 | 高梁川潮止堰の魚道改良について | 中国地方整備局 岡山河川事務所 管理第一課 | 千熊 敏照 |
| 8 | 14:30～14:50 | 効果的かつ持続的な事故対策の検討 | 中部地方整備局 北勢国道事務所 管理課 | 林 尚樹 |
| 9 | 14:50～15:10 | 富山の道路を賢く使う～ハード・ソフトによる富山IC周辺の冬期渋滞対策～ | 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課 | 川面 顕彦 |
| 10 | 15:10～15:30 | 街路樹の景観機能と管理状態に関する評価についての考察 | 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット | 蒲澤 英範 |
| 11 | 15:40～16:00 | 地域と連携した道路開通PRと効率的なストック効果把握 | 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課 | 田中 義太郎 |
| 12 | 16:00～16:20 | 札内川における礫河原再生の取り組みについて | 北海道開発局 帯広開発建設部 治水課 | 高橋 輝好 |
| 13 | 16:20～16:40 | 高知南国道路の事業損失抑制に向けた工事の取り組み | 四国地方整備局 土佐国道事務所 工務課 | 西原 優太 |
| 14 | 16:40～17:00 | 東九州道・九州中央道の開通効果について | 九州地方整備局 延岡河川国道事務所 調査第二課 | 赤塚 真吾 |

自由課題（イノベーション部門Ⅰ）

1日目：11月12日（木）11:00～15:10

| NO | 時間割 | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|-------------|-----------------------------------|--|--------|
| 1 | 11:00～11:20 | 道路施設のエネルギー有効活用に向けた検討 | 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 | 大河内 恵子 |
| 2 | 11:20～11:40 | 建築確認検査における電子申請へのBIM応用技術の開発 | 国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ | 武藤 正樹 |
| 3 | 11:40～12:00 | GPS計測を用いたロックフィルダムの計測精度向上の取り組み | 独立行政法人 水資源機構 総合技術センター | 曾田 英揮 |
| 4 | 13:00～13:20 | 美和ダム再開発湖内堆砂対策施設の水利模型実験による国内初の施設検討 | 中部地方整備局 三峰川総合開発工事事務所 工務課 | 大谷 賢治 |
| 5 | 13:20～13:40 | 遠隔操縦式バックホウ用大型土のう設置装置の開発 | 東北地方整備局 東北技術事務所 施工調査・技術活用課 | 伊藤 秀樹 |
| 6 | 13:40～14:00 | 道路構造物における長期品質確保の取り組みについて | 四国地方整備局 道路部 道路工事課 | 小原 和彦 |
| 7 | 14:00～14:20 | 新型除雪トラックの開発 | 北陸地方整備局 北陸技術事務所 施工調査・技術活用課 | 前田 光昭 |
| 8 | 14:30～14:50 | 天塩川における塩水遡上形態とヤマトシジミ生息環境の関係 | 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム | 杉原 幸樹 |
| 9 | 14:50～15:10 | 景観に配慮した天神川水門の施工について | 中国地方整備局 出雲河川事務所 大橋川出張所 | 平松 健一 |

自由課題（イノベーション部門Ⅱ）

1日目：11月12日（木）11:00～15:10

| NO | 時間割 | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|-------------|-----------------------------------|--|-------|
| 1 | 11:00～11:20 | 多時期の航空レーザ測量データを用いた斜面変動調査法の検討 | 国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム | 西井 稜子 |
| 2 | 11:20～11:40 | 「だいち2号」を利用した宇宙からの火山活動の監視 | 国土地理院 測地部 宇宙測地課 | 山田 晋也 |
| 3 | 11:40～12:00 | 滑走路下の曲がり浸透固化処理工法の施工 | 関東地方整備局 東京空港整備事務所 第二建設管理官室 | 片野 直樹 |
| 4 | 13:00～13:20 | 神戸港における中央航路に近接する既設防波堤撤去について | 近畿地方整備局 神戸港湾事務所 建設管理官室 | 前田 大輔 |
| 5 | 13:20～13:40 | 海底地形探査装置を活用した港湾構造物調査の成果と装置の運用について | 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 技術開発課 | 柿崎 慶治 |
| 6 | 13:40～14:00 | 防波堤整備コストの更なる縮減について | 北海道開発局 港湾空港部 港湾建設課 | 水島 良 |
| 7 | 14:00～14:20 | 大水深防波堤における潜水災害リスクを低減する機械化施工について | 九州地方整備局 宮崎港湾・空港整備事務所 工務課 | 進藤 琢磨 |
| 8 | 14:30～14:50 | 鳥取港における水中バックホウを用いた機械均し施工について | 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所 保全課 | 吉持 香織 |
| 9 | 14:50～15:10 | 那覇空港滑走路増設事業における環境保全～サンゴ移植～ | 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 那覇空港新滑走路整備推進室 調査課 | 椎原 康友 |

自由課題（アカウントビリティ部門）

2日目：11月13日（金） 10:00～12:20

| NO | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|---|------------------------------|-------|
| 1 | 釧路外環状道路における住民参加型緑化活動について—4年間にわたる小学校との協働の成果— | 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路道路事務所 第3工務課 | 小澤 悠 |
| 2 | 東北で初の地域と連携した「まるごと里ごと土砂防災」の取り組みについて | 東北地方整備局 新庄河川事務所 寒河江川砂防出張所 | 亘 糸美 |
| 3 | 河川管理レポートの作成について | 関東地方整備局 江戸川河川事務所 管理課 | 人見 寿 |
| 4 | より効果的な防災意識の啓発について | 長野県 犀川砂防事務所 砂防課 | 山口 有理 |
| 5 | 熊野大花火大会交通円滑化対策について | 中部地方整備局 紀勢国道事務所 調査設計課 | 出口 大治 |
| 6 | 瀬田川の水辺に新しい賑わいを生み出す取り組みについて | 近畿地方整備局 河川部 河川管理課 | 田尻 一郎 |
| 7 | 交通安全事業における合意形成の取り組み | 中国地方整備局 山口河川国道事務所 交通対策課 | 土居 修人 |
| 8 | 波介川河口導流路の整備効果について | 四国地方整備局 高知河川国道事務所 調査課 | 新谷 大吾 |
| 9 | バーチャル映像を活用した効率的な技術力継承 | 九州地方整備局 北九州国道事務所 交通対策課 | 松尾 健二 |
| 10 | 首里城公園における現場見学会の取組について | 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 首里出張所 | 池田 豊 |

指定課題

2日目：11月13日（金） 10:00～13:40

| 時間 | 会場 | 指定課題 I | 指定課題 II |
|-------------|-----|---|---------------------------------------|
| 10:00～10:40 | 課題名 | 大規模火山噴火に対応した実践的な緊急減災対策砂防に関する研究 | 災害現場からの情報収集の高度化に関する研究 |
| | 提案者 | 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 地震・火山砂防室 課長補佐 杉本 宏之 | 大臣官房 技術調査課 電気通信室 課長補佐 伊藤 太一 |
| 10:50～11:30 | 課題名 | 情報ソフトインフラの充実による減災対策の強化 | 官庁営繕事業におけるBIM導入に関する調査研究 |
| | 提案者 | 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 課長補佐 菊田 友弥 | 大臣官房 官庁営繕部 整備課 施設評価室 営繕技術専門官 城澤 道正 |
| 11:40～12:20 | 課題名 | 港湾・空港の施工・維持管理のための新技術を用いた機器開発 | 「木造事務庁舎の合理的な設計における留意事項」について |
| | 提案者 | 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域 計測・システム研究室チーム チームリーダー 松本 さゆり | 大臣官房 官庁営繕部 整備課 木材利用推進室 課長補佐 松村 耕太 |
| 13:00～13:40 | 課題名 | 道路のメンテナンス分野における技術研究開発の取組 | - |
| | 提案者 | 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路構造物管理システム研究官 木村 嘉富 | - |

ポスターセッション

※コアタイム

12日(木) 11:50~13:10 , 13日(金) 11:50~13:10

この時間帯は、発表者がポスター前に待機し、来場者からの質疑に
 応答致します。

| NO | 課題名 | 所属 | 発表者 |
|----|--|--------------------------------------|--------|
| 1 | 石巻市との協働による津波避難ビル整備～石巻 港湾合同庁舎の事例から～ | 東北地方整備局 営繕部 計画課 | 佐藤 孝志 |
| 2 | GPSを用いた地震時のダムの変位計測 | 国立研究開発法人 土木研究所 水工研究 グループ 水工構造物チーム | 小堀 俊秀 |
| 3 | 電子基準点誤差分析システムの開発 | 国土地理院 地理地殻活動研究センター 宇宙測地研究室 | 宗包 浩志 |
| 4 | 災害時における映像情報の収集及び配信 | 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所 工務第二課 | 三輪 光弘 |
| 5 | 長野国道事務所における災害対応 | 関東地方整備局 長野国道事務所 管理第 二課 | 伊藤 禎規 |
| 6 | 徳島海陽沖GPS波浪計の再設置について | 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事 務所 工務課 | 吉川 祐子 |
| 7 | 災害時におけるヘリサットの活用 | 九州地方整備局 企画部 情報通信技術課 | 岩橋 建一郎 |
| 8 | 公共調達制度の変遷と港湾空港分野における工 事品質等への影響について | 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港 湾施工システム・保全研究室 | 石松 和孝 |
| 9 | 常願寺川における「巨石付き盛土砂州を用いた河 岸防護工」の機能維持確保について | 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調 査第一課 | 大橋 由紀子 |
| 10 | 凍結防止剤散布コスト縮減のための散布装置改 良 | 中国地方整備局 中国技術事務所 施工調 査・技術活用課 | 小山 隆二 |
| 11 | 樽前山火山噴火緊急減災対策における冬期無人 化施工の取り組み | 北海道開発局 室蘭開発建設部 治水課 | 川崎 信彦 |
| 12 | 沖縄観光インフラカードの発行 | 沖縄総合事務局 建設行政課 | 仲村 将成 |

建設技術研究開発助成制度成果報告会

1日目：11月12日(木) 15:40～17:20

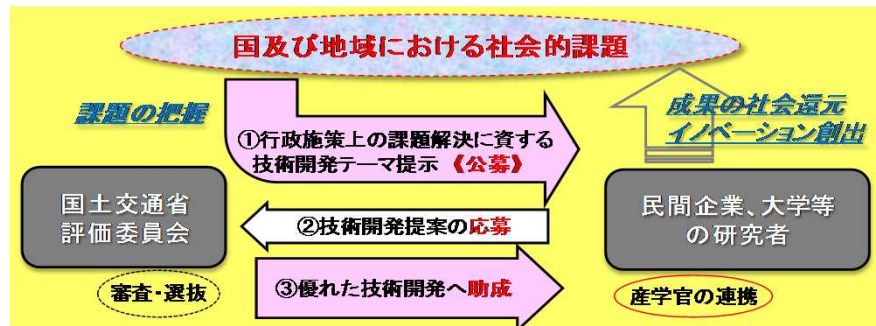
| NO | 時間割 | 研究課題名 | 研究代表者 所属 | 研究代表者 |
|----|-------------|---------------------------------------|-------------------------|-------|
| 1 | 15:40～16:00 | 変状を伴う老朽化トンネルの地質評価・診断技術の開発 | 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 | 伊東 佳彦 |
| 2 | 16:00～16:20 | 荷重と環境作用を考慮した鋼橋の新しいライフサイクル耐久性評価システムの開発 | 名古屋大学 工学研究科 社会基盤工学専攻 | 伊藤 義人 |
| 3 | 16:20～16:40 | 次世代無人化施工システムの開発 | 大成建設株式会社 技術センター 土木技術開発部 | 宮崎 裕道 |
| 4 | 16:40～17:00 | 限界耐力設計法に対応した免震構造の開発 | 東京都市大学 工学部 建築学科 | 西村 功 |
| 5 | 17:00～17:20 | 無人化施工による応急対応技術とその基盤となるデジタル通信技術の開発 | 一般財団法人 先端建設技術センター 企画部 | 吉田 貴 |

2日目：11月13日(金) 10:00～13:40

| NO | 時間割 | 研究課題名 | 研究代表者 所属 | 研究代表者 |
|----|-------------|---|--------------------------|--------|
| 1 | 10:00～10:20 | 状態可視化点検および構造応答発電センシングによる診断技術の高度化 | 東京工業大学 大学院 理工学研究科 土木工学専攻 | 佐々木 栄一 |
| 2 | 10:20～10:40 | 鋼床版のデッキプレートとUリブとの溶接部に発生する疲労クラックの高精度検査システムの開発 | 東京都市大学 工学部 都市工学科 | 白旗 弘実 |
| 3 | 10:50～11:10 | 小型加振器を用いた道路橋RC床版と踏掛版の健全性評価 | 東北大学 大学院 工学研究科 土木工学専攻 | 鈴木 基行 |
| 4 | 11:10～11:30 | 発泡ポリスチレンを用いた軽量・不燃・断熱天井材の開発 | 三和化成工業株式会社 製品開発室長 | 笹岡 洋二郎 |
| 5 | 11:40～12:00 | 災害復旧を目的とした円筒金網とチェーンを用いた簡便な補強土工法の開発 | 昭和機械商事株式会社 補強土グループ | 北村 明洋 |
| 6 | 13:00～13:20 | On Site Visualizationのコンセプトに基づく低コスト・低消費電力型モニタリングシステムの開発 | 神戸大学 大学院 工学研究科 市民工学専攻 | 芥川 真一 |
| 7 | 13:20～13:40 | 歴史的な町並みを有する飛騨・高山の伝統的な木造技術を継承した新木造技術の開発 | オークヴィレッジ株式会社 木造建築研究所 | 上野 英二 |

建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度。



□政策課題解決型(一般タイプ)

第4期科学技術基本計画(閣議決定)、科学・技術重点施策アクションプラン(総合科学技術会議等)及び第3期国土交通省技術基本計画を踏まえ、**国土交通政策上重要課題を解決するため技術研究開発**に重点化を図る。

□政策課題解決型(中小企業タイプ)

地域の地理的又は社会的な状況に精通し、地域の活力を支える中小建設企業を主な対象とした技術研究開発を支援する枠組みを構築し、**地域課題の解決を通じ地域活性化**を促す。1年目は事前調査(F/S)、事前調査を踏まえ半分程度に絞り込み、2年目以降は研究開発(R&D)に対し助成を実施。